

B-37 ミシン縫目の強さに関する研究(第2報)  
引張方向が布目方向と一致しない場合  
について

富山大 石原 ミキ

1. 日常着用している被服の縫目は、必ずしも布目に沿ったものばかりではなく、また引張られる方向が布目の方向と一致するとは限らない。縫目に直角の引張りに対する縫目の強さのうち、引張方向が布目方向と一致しない場合の縫目の抗張力についてその性質をしらべた。

2. 試布としては市販の綿シーチング、綿ブロードを用いた。布の経方向に対して種々の角度をなす方向を引張方向とし、試幅5cm、試長5~30cmとして試長の中央に引張方向に直角の縫目を作り、その引張り切断強さを測定した。また、これら各方向の縫目なしの布の強さを測定し、縫目の強さとの関係について検討した。

3. 布目方向に対する引張方向の角度により縫目の強さは変化するが、いずれの場合も、縫糸切断の範囲では針目数が増せば縫目の強さが増す。

引張方向が経および緯の織糸方向、ならびに正斜方向の場合は試長の変化が縫目の強さにおよぼす影響は僅少であるが、その他の方向では大きく影響することがある。

布目に一致しない方向に引張った場合の布の強さが試幅に対する試長により大きく変化することから、縫目の強さもまた、これに準じて変化すると考えられる。